

第2回 宮城県道路防災対策検討協議会(国道349号丸森町地区)の概要

- 1 日時 : 平成30年9月12日(水)
10時00分~11時30分
- 2 場所 : 宮城県庁9階(仙台市青葉区)
- 3 出席者
(委員)

飛田 善雄	東北学院大学教授
菊池 輝	東北工業大学教授
遠藤 雅司	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所副所長
籠目 勇一	宮城県土木部道路課長
鈴木 聡	宮城県大河原土木事務所副所長

(オブザーバー)

和田 眞	福島県土木部道路計画課長
------	--------------



- 4 議事
 - (1) 第1回協議会、現地調査の内容確認
 - (2) 整備目標(案)
 - (3) 整備方針(案)
 - (4) 今後の検討の進め方
- 5 議事内容(主な意見等)
 - 整備目標、整備方針について了承。
 - 【整備目標】
 - 平常時：対向車のすれ違いが円滑に出来る道路、
カーブが少なく対向車が見通せる道路
 - 災害時：孤立集落が発生しない道路
 - 【整備方針】
 - 未改良区間：冠水区間の影響を受けず、マサ土の分布に配慮し、
高盛土や長大法面を可能な限り回避したルート選定
 - 改良済区間：冠水区間の現道嵩上げや護岸等の対策など、現道の改良
 - 未改良区間を優先的に整備する事とし、改良済区間は関連する事業の実施に併せた整備を検討すること
 - 国道349号は、広域道路ネットワークを形成する路線であり、観光交流、産業振興はもとより、大規模災害時における広域連携を支える重要な路線である視点を加えるべき。
 - 丸森町地区において、沿線集落の孤立解消は重要であるが、加えて、持続可能なまちづくりの支援にとっても重要な道路である視点を加えるべき。
 - 本路線の中でも、道路構造や地形・地質に起因する災害、冠水被害などの課題が多く、ネットワークの脆弱部となっている未改良区間に特化し検討を進める。
 - 冠水時の孤立については、道路整備による避難路確保に加え、自治体による地域に対するリスクの周知や避難に関する啓蒙など、総合的な対策が必要。
 - 当該区間は地質性状が不均質であることが、技術的にも大きな課題となること
が想定され、工事段階において高度な技術と慎重な対策が必要。